

# 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 ダイソーケミックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4366 URL <https://www.daitochemix.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 永松 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部、QA・RC 部担当 (氏名) 南 修一 (TEL) 06(6911)9310  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,164	△0.4	586	△39.8	612	△37.2	489	△43.0
30年3月期第3四半期	9,203	△0.8	975	△14.6	975	△9.2	857	△8.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 301百万円(△73.8%) 30年3月期第3四半期 1,151百万円(0.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	45 57	—
30年3月期第3四半期	79 90	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	16,744	10,894	65.1
30年3月期	16,550	10,721	64.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 10,894百万円 30年3月期 10,721百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	5 00	—	7 00	12 00
31年3月期	—	5 00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.9	800	△30.0	800	△31.9	750	△36.8	69 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	11,200,000株	30年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	464,255株	30年3月期	464,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	10,735,745株	30年3月期3Q	10,736,371株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境などの改善を背景に緩やかな回復基調にあるものの、海外における貿易摩擦、国内における相次ぐ自然災害の影響、エネルギー価格、原材料費、人件費の上昇などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動や生産性向上に全力をあげるとともに、先端の電子材料、イメージング材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みましたが、化成品事業において電子材料およびイメージング材料の需要が低迷したことにより、売上高は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は91億64百万円（前年同四半期比0.4%減）、経常利益は6億12百万円（前年同四半期比37.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億89百万円（前年同四半期比43.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は前期末比1億93百万円増の167億44百万円となりました。流動資産は前期末比1億11百万円減の85億58百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少5億19百万円、未収入金の減少1億73百万円、受取手形及び売掛金の増加3億35百万円、たな卸資産の増加2億42百万円であります。固定資産は前期末比3億5百万円増の81億86百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加2億48百万円、有形固定資産の増加1億7百万円であります。

負債合計は前期末比20百万円増の58億49百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3億13百万円、社債（1年以内償還予定含む）の増加1億95百万円、未払金の減少3億19百万円、賞与引当金の減少1億46百万円であります。

純資産は前期末比1億73百万円増の108億94百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加3億60百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億75百万円であります。

これにより自己資本比率は65.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,209	1,689
受取手形及び売掛金	2,795	3,130
商品及び製品	904	675
仕掛品	1,562	1,570
原材料及び貯蔵品	904	1,367
未収入金	255	81
その他	38	43
流動資産合計	8,669	8,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,443	1,387
機械装置及び運搬具(純額)	609	592
土地	2,876	2,839
その他(純額)	347	564
有形固定資産合計	5,275	5,383
無形固定資産	285	251
投資その他の資産		
投資有価証券	1,979	2,227
その他	340	322
投資その他の資産合計	2,319	2,550
固定資産合計	7,881	8,186
資産合計	16,550	16,744
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011	1,324
短期借入金	250	250
1年内償還予定の社債	147	189
1年内返済予定の長期借入金	986	705
未払法人税等	113	3
賞与引当金	306	159
役員賞与引当金	39	7
未払金	827	508
その他	161	295
流動負債合計	3,844	3,443
固定負債		
社債	745	898
長期借入金	1,118	1,447
退職給付に係る負債	15	13
その他	104	47
固定負債合計	1,984	2,406
負債合計	5,829	5,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	2,880	3,240
自己株式	△248	△248
株主資本合計	9,954	10,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	439
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	152	140
その他の包括利益累計額合計	767	579
純資産合計	10,721	10,894
負債純資産合計	16,550	16,744

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	9,203	9,164
売上原価	7,530	7,794
売上総利益	1,673	1,369
販売費及び一般管理費	698	783
営業利益	975	586
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	28
不動産賃貸料	12	11
持分法による投資利益	3	6
雑収入	18	19
営業外収益合計	59	66
営業外費用		
支払利息	17	15
社債発行費	10	7
為替差損	1	8
雑損失	29	9
営業外費用合計	59	40
経常利益	975	612
特別利益		
固定資産売却益	16	—
未払金取崩益	—	20
特別利益合計	16	20
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15
減損損失	—	36
特別損失合計	—	51
税金等調整前四半期純利益	991	580
法人税等	133	91
四半期純利益	857	489
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	857	489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	△175
繰延ヘッジ損益	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△11
その他の包括利益合計	293	△187
四半期包括利益	1,151	301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,151	301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(持分法適用関連会社による株主割当増資)

平成30年8月28日開催の当社取締役会にて、持分法適用関連会社でありますDAITO-KISCO Corporationの株主割当増資の引受けを決議致しました。

なお、当該株主割当増資の払込は、2回に分割して行うこととしており、1回目は平成30年9月27日に完了しており、2回目は平成31年3月14日を予定しております。

DAITO-KISCO Corporationの株主割当増資の内容

- (1) 増資総額：200億ウォン
- (2) 当社払込額：100億ウォン (増資総額の50%)
- (3) 増資後資本金：100億ウォン (増資前資本金：80億ウォン)  
増資後資本剰余金：180億ウォン (増資前資本剰余金：なし)
- (4) 増資後出資比率：ダイトケミックス株式会社 50%  
京仁洋行株式会社 50%
- (5) 増資の目的：韓国益山市 新工場建設資金 (平成31年11月完成予定)



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	8,099	1,104	9,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	52	52
計	8,099	1,156	9,256
セグメント利益	766	201	967

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	967
セグメント間取引消去	7
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	975

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	8,062	1,102	9,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	46	46
計	8,062	1,148	9,210
セグメント利益	413	163	577

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	577
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	586

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化成品事業」セグメントにおきまして、静岡県掛川市が施行する海岸防災林強化事業盛土工事に応じ、当社土地の一部を売却することを決議したことにより引渡し時点での損失発生が見込まれました。そのため当該土地に係る帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失36百万円を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における減損損失の計上額は36百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。